

輝く 田底っ子

第12号

文責：校長 益永 一幸

田底小 スローガン

① 自分と周りの人を大切にしよう

② 自ら進んで学び、互いに高め合おう



6月は「いじめ根絶強化月間」～今月の学校重点目標です～

5月の重点目標「自分のいいところを知っている」◎（4月2.5→5月3.1）、「家庭学習をする」△（4月2.5→5月2.9）でした。自分のいいところは自信をもってどんどん伸ばして行ってほしいです。家庭学習は学習のモチベーションをあげる大切な習慣です。家庭学習に集中できる環境づくりをお願いします。

6月の重点目標は「傷つける発言や行動（いじめ）をしない」「相手の話をしっかり聞く」です。いじめ根絶強化月間に合わせて設定しています。6月5日（土）の学校集会では以下のような話をしました。家でも話題にしていただければと思います。

みなさんは、「ぞうさん」の歌を知っていますか。「ぞうさん、ぞうさん、お鼻が長いね、そうよ、母さんも長いよ」という歌です。実は、この歌を作詞した、「まどみちお」さんは、ぞうさんの歌について、「子どものぞうが友達から、『お前の鼻は長い』と言われた、いじめられた歌」と言っています。たしかに、ぞう以外の動物で、あんなに長い鼻をもった動物はいません。

子どものぞうは、友達からそんなことを言われて落ち込んで家に帰ります。そして、お母さんぞうにそのことを話します。すると、お母さんぞうは、「お母さんも、お鼻が長いよ。ぞうの鼻が長いのは、ぞうの個性なの。生き物はみんなそれぞれに個性を持っているの。個性は、みんな違うからいいの。だから、そんなことで落ち込まないで、明日からまた元気にお友達と遊んでね。」と話しました。大好きなお母さんぞうから教えてもらった子ぞうは、友達に、「そうよ、母さんも長いよ。」と答えたとのことでした。

ぞうさんのお母さんが言っているように、私たちも、互いの個性を認め合わなければならないと思います。例えば、自分とは、話し方が違って、考え方が違って、雰囲気違って、それは、すべてその人の個性です。個性というのは、みんなそれぞれ違うからいいのです。他の人から、「みんなと違う」という理由で、何か言われるものではないのです。本当に大切なことは、「君は君のままでいいんだよ」「ありのままの君が好きなんだよ」と言い合える関係をつくることだと思います。（「わたしと小鳥とすずと」も参考に！）

6月5日：防災学習の日で学んだこと



防災は日常生活と家族や地域の方とのつながりを大切にする事から

地域をあげての「防災フェア」を実施する予定でしたが、残念ながら学校だけの実施ということで体験活動も中止となりました。しかし、防災士の柳原志保さん（歌う防災士 しほママ）を講師に招き高学年「避難所における自分たちの役割」、低学年「自分の命を守る行動」についてリモートで話をいただきました。

